

トルコ為替週報

2022年8月9日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去2週間の動き＞

(7月26日～8月8日)

USD/TRY: 17.7700～18.0000

TRY/JPY: 7.28～7.66 (参照値)

過去2週間のトルコ・リラ相場は、対ドル、対ユーロ(対バスケット)で、予想通りの軟調推移。ただし、リラの下げ幅は予想をはるかに下回ったし、8月1日以降は(対ドルの)18.0割れを目前とした極めて狭い値幅における取引に終始しており、実態は、軟調と言うよりは膠着と言える値動きだった。この間発表された各種トルコ経済指標は、概ね市場の予想に沿った内容で、トルコ経済やリラの先行きに対して新たに示唆するところはない。そのことは、即ち、歴史的なマイナス実質金利と実質的な資本規制、不透明/不安定な金融規制などが対内証券/直接投資を枯渇させた一方、貿易/経常赤字ファイナンスの必要に基づく穏やかながらも一方的なリラ安基調が引き続き継続する構図を意味した。異変と言えば29日のリラ反発だが、このリラ高の背景には「ロシア国営原子力企業(Rosatom)が原発建設費用150億ドルをトルコ向け送金する」とのトルコ側の発表があった。同原発の建設費用は総額200億ドルと見積もられ、その資金を融資するロシア国営銀行(ズベルバンク)が、Rosatomのトルコ子会社に建設資金を送金するという話。この発表に、Rosatom側は「送金額は大幅に小さい」と応じたが、8月5日に発表されたトルコ中銀の週次統計は、7月29日までの1週間で、14億ドル程度の総外貨準備増加を示しており(16億ドル前後の金準備増加と併せ)、なんらかの資金がトルコ金融機関に振り込まれた可能性は高いと言えただろう。ただし、外貨で振り込まれた(故に外貨準備が増額)この資金が直接リラを押し上げる論理的因果関係は成立せず、推測できるのは、増えたばかりの外貨準備を、トルコ中銀が、早速、地場国営銀行経由のリラ買いに活用した可能性。その後のリラの底堅い値動きも、おそらくはこうした実質的為替介入を背景としたものだったのではないかと推測される。

＜過去2週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
7/29	7:00	貿易収支(USD)	6月	-8.17bn	-8.20bn	-10.60bn
	8:00	外国人観光客(前年比)	6月	+145.0%		+314.0%r
8/3	7:00	CPI(前年比)	7月	+79.60%	+80.24%	+78.62%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(8月9日～8月15日)

USD/TRY: 17.850～18.150

TRY/JPY: 7.40～7.60

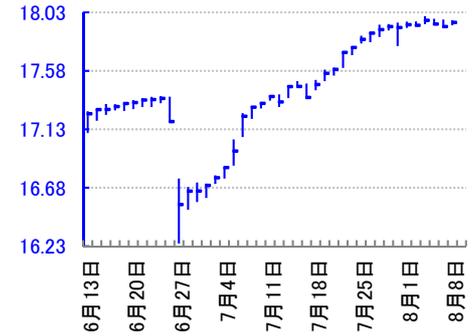
向こう1週間のトルコ・リラ相場は、方向感を欠いた膠着を予想。仮に値幅が出るとしたらリラ安方向を警戒する。上述、原発建設に絡む外貨送金は、確かに現実味のある話。いくつか考えられるのは、あくまでも想像の域を出ないものの①29日に前後したルーブル安から、送金されたのはルーブルだった可能性(それをトルコ中銀、もしくはトルコ国営銀行がドルなどに転換、リラ買い介入に使用した)②原発建設のような長期(数年単位)に亘るプロジェクトの場合、建設費用の総額が一度に送金される可能性は低く、今後も、数十億ドル単位の送金が定期的(例えば半年置きなど)に繰り返される可能性。重要なのは、当該原発建設費用に限らず、この間、期限延長(7月末→12月末)が確認された(5日)アゼルバイジャン政府石油基金の外貨預金(トルコ中銀に10億ユーロ)然り、トルコ中銀が中国、カタール、韓国、UAEなど各国中銀と結んだスワップ協定に基づいて供給された各国通貨然り、全ては借りたお金=いずれ返済する必要のあるお金である事実。勿論、その使用用途はトルコ中銀に一任されているはずだが、金利も上げずにそれをリラ買い介入に投じるのは、砂漠に水を撒く行為に等しいようにも思われる。今年末にアゼルバイジャンの当該基金が10億ユーロ(+金利)を返済される可能性は極めて低いのではなからうか。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
8/10	7:00	失業率	6月			10.9%
8/11	7:00	経常収支(USD)	6月		-3.40bn	-6.47bn
8/12	7:00	鉱工業生産(前年比)	6月		+6.7%	+9.1%
	7:00	小売売上高(前年比)	6月			+20.8%
	7:00	期待インフレ率(12か月)	8月			+40.23%
8/15	8:00	財政収支(TRY)	7月			-31.1bn

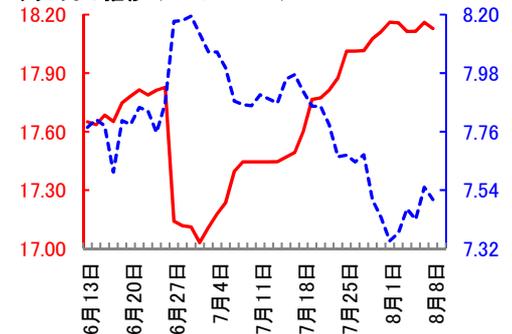
(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/TRYの推移 (日足/ロンドン 7:00～17:00)



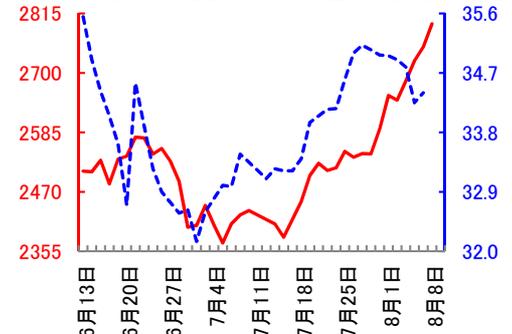
バスケット/リラの推移 (トルコ中銀公示)

リラ/円の推移 (ロンドン17:00)



株式市場の推移 (ISE 100種指数)

長期金利の推移 (5年物OIS金利: 5年物金利スワップ金利が入手不能になったため5年物OIS金利に変更しました)



(資料: トルコ中銀/トムソンロイター/ブルームバーグ)

トルコ関係主要経済指標

1週間物レボ金利		14.00%
成長率(GDP/前年比)	Q1	+7.3%
失業率	5月	10.9%
消費者物価(前年比)	7月	+79.60%
鉱工業生産(前年比)	5月	+9.1%
小売売上高(前年比)	5月	+20.8%
貿易収支(USD)	6月	-8.17bn
経常収支(USD)	5月	-6.47bn

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。